

新たな基本政策の体系案

少子化の進行や、超高齢社会の到来、災害リスクの増大、新宿区特有の都市課題、DXの進展により、行政課題が複雑化・横断化していることから、的確に対応するために新たな基本政策体系への再編（案）を作成しています

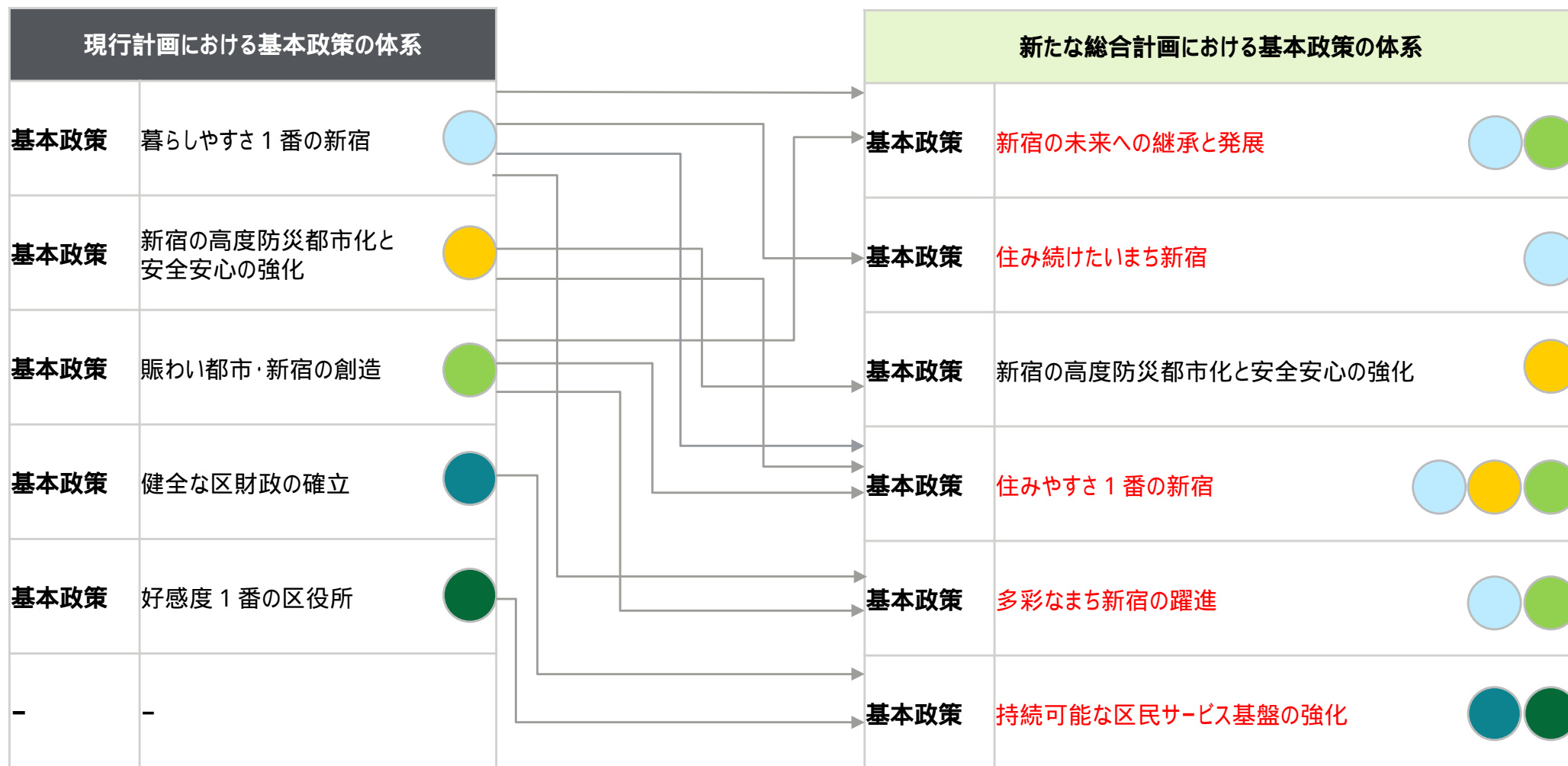
基本政策の体系再編の背景

- 現行基本構想策定（平成19年）以降、新宿区を取り巻く環境は大きく変化しており、行政課題は複雑化・横断化している。このため、現行基本構想の理念を尊重しつつ、新たな総合計画の策定に当たっては、今日の課題に対応できる基本政策の体系への再編が必要となっている。

社会環境の変化	新宿区における課題の顕在化	政策体系再編の必要性
少子化の進行・超高齢社会の到来	子育て支援ニーズの高度化、高齢者単身世帯の増加、地域コミュニティの担い手不足、孤立・孤独の深刻化が進行	「子育て」「福祉」「地域コミュニティ」の観点から、世代を超えて支え合う地域共生社会の実現が必要
大規模災害・感染症リスクの高まり	首都直下地震の切迫性の高まりに加え、豪雨災害の激甚化や感染症拡大など、複合的なリスクへの対応が課題化	防災・減災だけでなく、危機管理、地域防災力、都市基盤強化の横断的な推進が必要
新宿区特有の都市課題	インバウンド回復によるオーバーツーリズム、民泊と住環境の調和、外国人住民・来街者の増加、繁華街を抱える都市特有の治安課題への対応が必要	「観光振興」「地域共生」「安全・安心」「まちづくり」を統合的に推進する視点が必要
DXの進展と区民ニーズの変化	行政手続のデジタル化、データ活用への期待の高まり、区民ニーズの多様化・複雑化への迅速な対応が求められている	行政サービスの提供方法や区政運営そのものを変革するDXを踏まえた施策の展開が必要
課題の複雑化・分野横断化	住宅、防災、福祉、地域コミュニティ、防犯などの課題が相互に関連し、単一分野の施策のみでは解決が困難	分野別施策中心から、横断型の政策体系への転換、整理が必要

新たな総合計画と現行総合計画では、基本政策における体系を以下のとおり再編しています

基本政策における体系の再編概要



- 基本政策における体系を再編するにあたり、区民意見や社会環境の変化を踏まえ、現行計画における基本政策を整理しています
- 上記左側の現行計画における基本政策にマークを付しており、右側の新たな総合計画における基本政策での位置付けを記しています

基本政策を再編するにあたって、区民の関心が高い子育て支援に重点を置き、新たに基本政策として位置付けるとともに、「未来を担う人づくり」「次世代への継承」という考え方を表現しています

基本政策再編の観点

新たな総合計画の基本政策

基本政策	新宿の未来への継承と発展
分野	子育て支援、教育、若者支援、男女共同参画、平和

現行計画から基本政策を再編した考え方のポイント

この基本政策では、少子化の進行や人口減少社会の到来を見据え、これからの新宿区を担う子どもたちや若者への支援に関する施策をまとめています。
令和7年度区民意識調査（以下「区民意識調査」という。）では、次期基本構想にも継続すべき基本理念として「次の世代が夢と希望を持てる社会をめざします」が69.2%と最も高くなっています。

区民意識調査における区政への要望としても「子育て支援」は引き続き上位に位置しており、特に子育て世代では最も重要な施策として挙げられています。

さらに、基本構想・総合計画の策定に向けて実施した区民アンケート（以下「区民アンケート」という。）では、子育て環境の充実を求める意見が多く寄せられました。
また、子どもを対象としたアンケートでは、安全・安心な環境や遊び場の充実、学校施設・設備の充実など、子どもたちの視点から新宿区への様々な意見が寄せられました。

また、町会・自治会や地区協議会からは、子どもの居場所づくりや、子ども・若者の活動機会の充実に関する意見が寄せられました。

加えて、新宿区基本構想及び新宿区総合計画策定等に向けての区民討議会（以下「区民討議会」という。）においても、子育て支援の充実や教育環境の整備、教員体制の強化、子どもの居場所づくりなどについて、参加者から多くの意見が寄せられました。

こうした区民意見や社会環境の変化を踏まえ、次期総合計画では、子育て支援、教育、若者支援など、次世代に対する取組を基本政策として位置付けています。

また、現行計画では基本政策に位置付けていた平和施策については、新宿の未来へ継承するという観点から、本政策に再編しています。

社会環境や区民ニーズの変化を踏まえ、基本政策の名称や構成を見直すとともに、個別施策の再編や名称変更を行いました

基本政策の再編

現行計画の基本政策	
基本政策	暮らしやすさ 1 番の新宿
分野	健康、高齢者、障害者、子育て支援、教育、セーフティネット、若者支援、男女共同参画、コミュニティ
個別施策	
安心して子育て環境の整備	
未来を担う子どもたちの生きる力を伸ばす教育の充実	
女性や若者が活躍できる地域づくりの推進	

現行計画の基本政策体系	
基本政策	賑わい都市・新宿の創造
分野	都市基盤、ユニバーサルデザイン、みどり、環境、産業振興、観光、文化歴史、生涯学習、スポーツ、多文化共生、平和
個別施策	
平和都市の推進	

新たな総合計画の基本政策	
基本政策	新宿の未来への継承と発展
個別施策	個別施策名の変更理由
安心して子育てできる環境の充実	子育て環境の整備から、質の確保・向上への転換に伴い、サービス内容の充実が求められる
未来を担う子どもたちの『生きる力』を育む教育の推進	『生きる力』を育む教育を推進していくことが重要である
若者をはじめとした誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの推進	女性、若者、性別に限定せず、誰もがいきいきと活躍できる地域づくりに取り組んでいくことが必要である
平和都市の推進	現行の考え方を継承する

基本政策を再編するにあたって、「健康」・「高齢者」・「障害者」・「セーフティネット」の分野を整理するとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して「住み続けたいまち」という考え方を表現しています

基本政策再編の観点

新たな総合計画の基本政策

基本政策	住み続けたいまち新宿
分野	健康、高齢者、障害者、セーフティネット、地域福祉

基本政策再編の考え方

この基本政策では、現在新宿区にお住まいの方はもちろん、今後新宿区で暮らす方も含め、誰もが安心して住み続けたいと思えるまちの実現に向けた施策をまとめています。

現在の新宿区では高齢化が進んでおり、今後も高齢者人口の増加が見込まれています。

区民意識調査においても、「高齢者福祉の充実」は区政への要望として常に上位に位置しており、令和7年度調査でも2番目に高い項目となっているほか、自分が介護を必要とする状態になることや、医療費・介護費の負担等について将来の不安として挙げる方が多くなっています。

さらに、区民アンケートでは、住み続けたい理由として医療機関の充実が上位となっているほか、将来の新宿区に求めるまちの姿として、高齢者が安心して暮らせる環境や医療・福祉の充実を望む意見が寄せられました。また、幸福度向上に向けた取組として医療や福祉の充実を求める意見も多く寄せられました。

既設審議会からは、高齢者の孤立や地域での関係構築の難しさなどに関する意見が示されました。

加えて、区民討議会においても、高齢者福祉や介護サービス、健康寿命の延伸、単身高齢者への支援、介護人材の確保などに関する意見が数多く寄せられました。

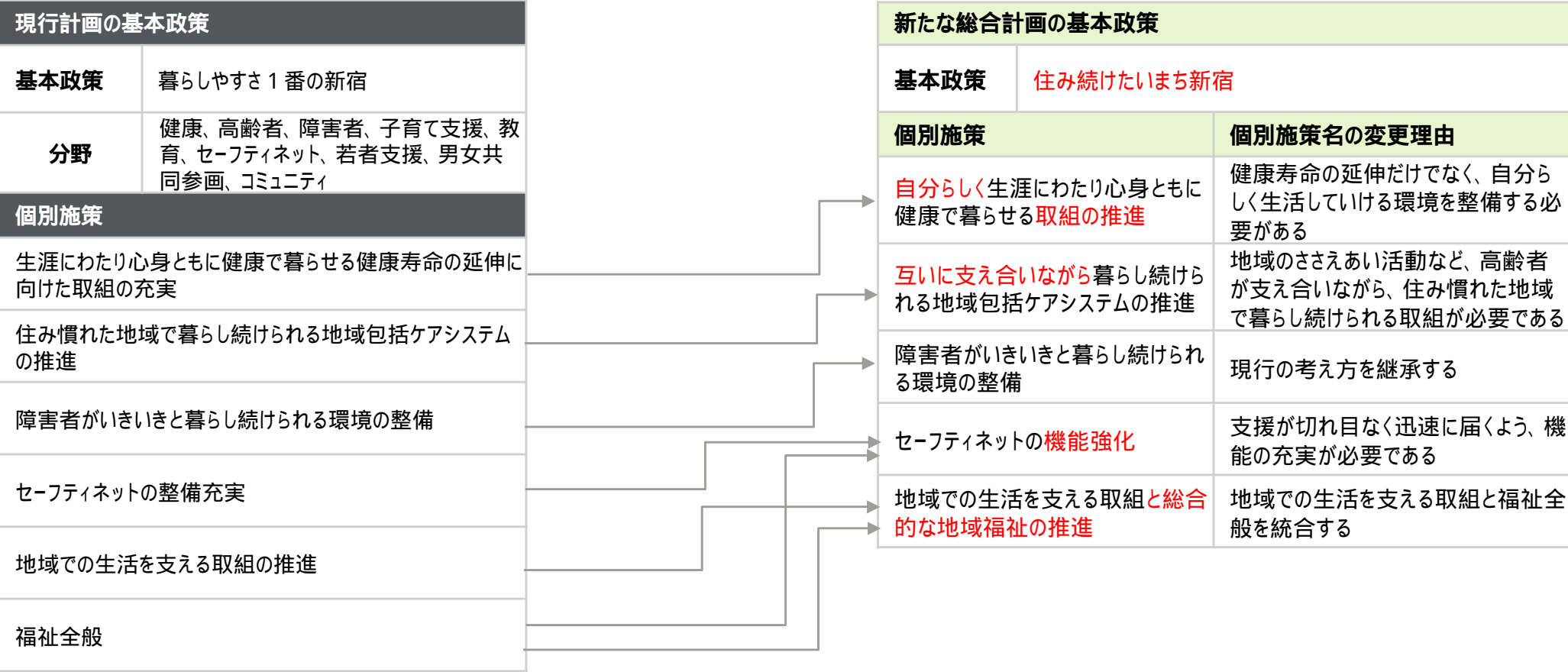
こうした区民意見や社会環境の変化を踏まえ、次期総合計画では、健康、高齢者福祉、障害者福祉、セーフティネットを一つの基本政策として整理しています。

また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを支えるため、地域福祉の充実や生活困窮者支援なども含めた包括的な取組を進めることで、「住み続けたいまち新宿」の実現を目指します。

現行計画では、子育て支援や教育なども同じ基本政策の中に位置付けていましたが、次期総合計画ではそれらを基本政策で整理するとともに、健康、高齢者福祉、障害者福祉、セーフティネット、地域福祉に整理し、「住み続けるための基盤」となる施策群として再編しました。

社会環境や区民ニーズの変化を踏まえ、基本政策の名称や構成を見直すとともに、個別施策の再編や名称変更を行いました

基本政策ごとの再編



基本政策を再編するにあたって、現行の基本政策を継承し、耐震化、不燃化、防災体制、感染症対策を一つの基本政策として整理し、「非常時への備え」に焦点を当てています

基本政策再編の観点

新たな総合計画の基本政策

基本政策	新宿の高度防災都市化と安全安心の強化
分野	耐震化、不燃化、防災、安全・安心、感染症対策

基本政策再編の考え方

この基本政策では、首都直下地震や風水害などの自然災害、感染症のまん延など、区民の生命と暮らしに重大な影響を及ぼす危機への対応に関する施策をまとめられています。

区民意識調査では、現行の総合計画における個別施策に対する重要度について、重要度に着目すると基本政策『新宿の高度防災都市化と安全安心の強化』の3施策が6割以上で高くなっています。また、「震災・水害対策」が区政への要望の上位に位置しています。特に近年は自然災害の激甚化に加え、新型コロナウイルス感染症の経験を通じて、平時からの備えの重要性が再認識されています。

さらに、区民アンケートでは、まちづくりによって幸福度が向上するために必要な取組として、「災害や犯罪に対する不安の軽減」が最も高い割合を占めており、区民の安全・安心に対する関心の高さがうかがえます。

既設審議会からは、障害者への避難支援や、外国人住民への情報提供、地域防災活動の重要性に関する意見が示されました。

また、区民討議会においても、避難所や避難経路に関する情報発信、多言語対応、防災訓練の充実、高齢者や要配慮者への支援など、防災に関する多くの意見が寄せられました。

こうした状況を踏まえ、次期総合計画でも現行の基本政策を継承し、耐震化、不燃化、防災体制、感染症対策を一つの基本政策として整理し、非常時においても区民の命と暮らしを守るための取組を重点的に進めていきます。

なお、現行計画では、防犯や生活環境などの日常生活に関する施策も同じ政策体系に含まれていましたが、次期計画ではそれらを基本政策へ整理しています。

社会環境や区民ニーズの変化を踏まえ、基本政策の構成を見直すとともに、個別施策の再編や名称変更を行いました

基本政策ごとの再編

現行計画の基本政策		新たな総合計画の基本政策	
基本政策	新宿の高度防災都市化と安全安心の強化	基本政策	新宿の高度防災都市化と安全安心の強化
分野	耐震化、不燃化、防災、安全・安心、感染症対策、生活環境	個別施策	個別施策名の変更理由
個別施策			
災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり		災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり	現行の考え方を継承する
災害に強い体制づくり		災害に強い体制づくり	現行の考え方を継承する
暮らしやすい安全で安心なまちの実現		感染症などから暮らしを守る体制の強化	防犯対策を基本政策に整理したことに伴い、感染症対策を主とした体制強化として位置付ける
保健衛生全般			

基本政策を再編するにあたって、区民の関心が高い防犯・生活環境を中心に整理し、「日常の住みやすさ」に重点を置いて表現しています

基本政策再編の観点

新たな総合計画の基本政策

基本政策	住みやすさ 1 番の新宿
分野	安全・安心、生活環境、環境

基本政策再編の考え方

この基本政策では、防犯、治安、生活環境、環境美化、脱炭素など、区民が日常生活の中で実感する「住みやすさ」の向上に関する施策をまとめています。区民意識調査では、「防犯・地域安全対策」が区政への要望として最も高くなっており、近年ではその割合も上昇しています。

さらに、区民アンケートでは、「地域の安全・安心」や「まちの清掃・美化」に対する関心が高く、自由意見においても、ごみ問題やまちの美化、生活マナーの向上、治安対策など、日常生活に身近な課題の改善を求める声が寄せられました。

町会・自治会や地区協議会からは、防犯対策やごみ対策、環境美化の推進に関する意見が寄せられました。

区民討議会においても、歌舞伎町周辺の治安対策、防犯カメラの設置、ポイ捨て対策、民泊対策、空き家対策などについて多くの意見が寄せられました。

こうした状況を踏まえ、次期総合計画では、防災等の分野を基本政策で継承する一方で、区民の日常生活に密接に関わる安全・安心や生活環境の課題を本政策に集約しました。誰もが安心して暮らし、住み続けたいと感じられる新宿の実現を目指していきます。

なお、現行計画では基本政策に位置付けていた地球温暖化対策や資源循環などの環境分野についても、「日常の住みやすさ」の観点から、本政策に再編しています。

社会環境や区民ニーズの変化を踏まえ、基本政策の名称や構成を見直すとともに、個別施策の再編や名称変更を行いました

基本政策ごとの再編

現行計画の基本政策	
基本政策	暮らしやすさ 1 番の新宿
分野	健康、高齢者、障害者、子育て支援、教育、セーフティネット、若者支援、男女共同参画、コミュニティ
個別施策	
地域の課題を共有し、ともに考え、地域の実情に合ったまちづくりの推進	

現行計画の基本政策	
基本政策	新宿の高度防災都市化と安全安心の強化
分野	耐震化、不燃化、防災、安全・安心、感染症対策、生活環境
個別施策	
暮らしやすい安全で安心なまちの実現	
保健衛生全般	

現行計画の基本政策	
基本政策	賑わい都市・新宿の創造
分野	都市基盤、ユニバーサルデザイン、みどり、環境、産業振興、観光、文化歴史、生涯学習、スポーツ、多文化共生、平和
個別施策	
誰もが安心して楽しめるエンターテインメントシティの実現	
地球温暖化対策の推進	
資源循環型社会の構築	

新たな総合計画の基本政策	
基本政策	住みやすさ 1 番の新宿
個別施策	個別施策名の変更理由
犯罪のない安全・安心なまちづくり	防犯対策や特殊詐欺対策など、犯罪のない安全・安心なまちづくりのための取組が必要である
地域で安心して生活できる環境の整備	オーバーツーリズム、民泊問題などを解決し、いつまでも住み続けられるための取組が必要である
綺麗で美しいまちの実現	歌舞伎町シネシティ広場におけるごみ問題や、ねずみ被害などに関するごみ問題への対策が必要である
地球温暖化対策の推進	現行の考え方を継承する
資源循環型社会の構築	現行の考え方を継承する

基本政策を再編するにあたって、都市機能や都市環境を生かしたまちづくりや、産業・観光・文化・スポーツ、地域コミュニティを一つの基本政策として整理し、「多様な主体の交流・活躍によるまちの発展」という考え方で表現しています。

基本政策再編の観点

新たな総合計画の基本政策

基本政策	多彩なまち新宿の躍進
分野	コミュニティ、多文化共生、産業振興、観光、文化歴史、生涯学習、スポーツ、都市基盤、ユニバーサルデザイン、みどり

基本政策再編の考え方

この基本政策では、新宿駅周辺の都市基盤整備をはじめ、産業振興、観光、文化芸術、スポーツ、みどり、多文化共生など、新宿の魅力や活力を創出する施策をまとめています。

新宿区は国内有数のターミナル駅を有し、多様な人々が集う国際色豊かなまちです。今後も持続的に発展していくためには、都市の魅力向上と地域の活力創出を両立していくことが重要となります。

また、区民アンケートでは、地域活動への関心がある区民が多くみられたほか、多文化共生の推進、スポーツ活動を楽しめる環境づくりなどを求める意見が寄せられました。子どもを対象としたアンケートにおいても、イベントや交流の場の充実、公園や自然の充実などに関する意見が寄せられました。

町会・自治会や地区協議会からは、町会・自治会への支援や地域活動への参加促進、地域におけるつながりの強化の重要性について意見が寄せられました。

区民討議会では、観光や文化芸術、スポーツイベントの充実、新宿らしい地域資源の活用、多文化共生の推進、地域コミュニティの充実などについて多くの意見が寄せられました。

こうしたことから、次期総合計画では、都市機能や都市環境を生かしたまちづくりや、産業・観光・文化・スポーツだけでなく、地域コミュニティ、多文化共生も含めて整理し、多様な主体が交流し活躍できる「多彩なまち新宿の躍進」を表現しています。

なお、現行計画では基本政策 に位置付けていたコミュニティ分野について、「多文化共生も含めた地域コミュニティの推進」の観点から本政策に再編しています。また、平和施策は基本政策 に、環境分野は基本政策 に整理しています。

社会環境や区民ニーズの変化を踏まえ、基本政策の名称や構成を見直すとともに、個別施策の再編や名称変更を行いました

基本政策ごとの再編

現行計画の基本政策		新たな総合計画の基本政策	
基本政策	暮らしやすさ 1 番の新宿	基本政策	多彩なまち新宿の躍進
分野	健康、高齢者、障害者、子育て支援、教育、セーフティネット、若者支援、男女共同参画、コミュニティ	個別施策	個別施策名の変更理由
個別施策	地域の課題を共有し、ともに考え、地域の実情に合ったまちづくりの推進	地域で活動する様々な主体が ささえあう地域コミュニティの 推進	「新宿区未来につなぐ町会・自治会ささえあい条例」の趣旨に基づき、地域の中心組織である町会・自治会と地域で活動する様々な主体が連携して取り組むなど地域コミュニティを推進する必要がある
		産業の持続的な発展に向けた 支援	経営や創業等の事業者の取組を支援するとともに、産業の活力により、地域経済の持続的な発展を図る
		商店街の魅力向上・活性化 の推進	魅力あふれる商店街づくりと商店街の活性化の 2 つを軸に取り組んでいく必要がある
		多彩な文化芸術と歴史を活か したまちの魅力の創造	賑わい創出は観光施策として整理した上で、文化芸術と歴史を基盤にした魅力あるまちを築いていくことが求められる
		区民の暮らしと調和のとれた国 際観光都市・新宿としての魅 力の向上	観光だけでなく、シティプロモーションにより新宿区の魅力を引き続き向上させる必要がある
現行計画の基本政策	分野	賑わい都市・新宿の創造	
		都市基盤、ユニバーサルデザイン、みどり、環境、産業振興、観光、文化歴史、生涯学習、スポーツ、多文化共生、平和	
個別施策		多文化共生のまちづくりの推進	
		活力ある産業が芽吹くまちの実現	
		魅力ある商店街の活性化に向けた支援	
		まちの歴史や記憶、文化、芸術など多様な魅力による賑わいの創造	
		誰もが安心して楽しめるエンターテインメントシティの実現	
		国際観光都市・新宿としての魅力の向上	

社会環境や区民ニーズの変化を踏まえ、基本政策の名称や構成を見直すとともに、個別施策の再編や名称変更を行いました

基本政策ごとの再編

現行計画の基本政策		新たな総合計画の基本政策	
基本政策	賑わい都市・新宿の創造	基本政策	多彩なまち新宿の躍進
分野	都市基盤、ユニバーサルデザイン、みどり、環境、産業振興、観光、文化歴史、生涯学習、スポーツ、多文化共生、平和	個別施策	個別施策名の変更理由
個別施策			
生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実		誰もが生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実	誰もが生涯にわたり学習やスポーツ活動などを楽しむことができる取組が必要である
回遊性と利便性の向上による魅力的で歩いて楽しいまちづくり		回遊性と利便性の向上による魅力的で歩きやすいまちづくり	魅力的で歩いて楽しいまちづくりと、利用しやすく、わかりやすいまちづくりを一体的に実施する
誰もが自由に歩ける、利用しやすく、わかりやすいまちづくり			
地域特性を活かした都市空間づくり		地域特性を活かした持続可能で魅力ある都市空間づくり	これからの都市づくりには、環境負荷の低減や将来世代への配慮といった持続可能性、そして居住者・来街者双方にとっての魅力創出が必要である
道路環境の整備			
交通環境の整備		誰もが利用しやすい道路・交通環境の整備	ユニバーサルデザインやバリアフリーを考慮した誰もが利用しやすく安全・安心な道路・交通環境整備に取り組む必要がある また、道路整備と交通環境の整備は一体的に取り組む必要がある
豊かなみどりの創造と魅力ある公園等の整備		豊かで美しいみどりの創造と魅力ある公園等の整備	豊かで美しいみどりの創造と魅力ある公園等の整備が求められている

基本政策を再編するにあたって、現行基本政策の「健全な区財政の確立」と「好感度 1 番の区役所」を整理し、「区民サービスを支える基盤」として表現しています

基本政策再編の観点

新たな総合計画の基本政策

基本政策	持続可能な区民サービス基盤の強化
分野	効果的・効率的な行財政運営、行政評価、区有施設のあり方、窓口サービスの充実、職員の人材育成、地方分権の推進

基本政策再編の考え方

この基本政策では、次期総合計画の基本政策 から を支える基盤として、行政サービス、行財政運営、公共施設マネジメントなどに関する施策をまとめています。人口構造の変化や行政需要の多様化が進む中においても、将来にわたり良質で安定した行政サービスを提供していくためには、効果的かつ持続可能な行財政運営が不可欠です。

また、区民アンケートでは、行政サービスのデジタル化や利便性の向上、相談体制の充実、区政に関する分かりやすい情報発信などを求める意見が寄せられたほか、効果的・効率的な行財政運営や公共施設マネジメントの推進、これらの取組内容を分かりやすく周知することを求める意見が寄せられました。

既設審議会からは、デジタルサービスの周知や、AI活用による業務効率化に関する意見が示されました。

区民討議会では、窓口手続の簡素化、デジタル化の推進、情報発信の強化、公共施設の有効活用、財政情報の見える化などについて多くの意見が寄せられました。

こうした状況を踏まえ、次期総合計画では、現行計画の「健全な区財政の確立」と「好感度 1 番の区役所」を統合し、区民サービスの向上と持続可能な行財政運営を一体的に推進する政策として整理しています。

区民サービスの向上と持続可能な行財政運営を一体的に推進する政策として整理し、 2つの基本政策を統合しました

基本政策ごとの再編

現行計画の基本政策	
基本政策	健全な区財政の確立
分野	効果的・効率的な行財政運営、行政評価、区有施設のあり方
個別施策	
効果的・効率的な行財政運営	
公共施設マネジメントの強化	

現行計画の基本政策	
基本政策	好感度 1 番の区役所
分野	窓口サービスの充実、職員の人材育成、地方分権の推進
個別施策	
行政サービスの向上	
職員の能力開発、意識改革の推進	
地方分権の推進	
人事制度全般	

新たな総合計画の基本政策	
基本政策	持続可能な区民サービス基盤の強化
個別施策	個別施策名の変更理由
行政サービスの強化	フロントヤード改革を実施し、区役所に来庁せず手続き完了するなど、区民の負担軽減を図るサービスを充実させる
持続可能な行財政運営	効果的・効率的な行財政運営を継続するとともに、地方分権を推進し、持続可能な区政運営を行う
公共施設マネジメントの推進	新宿区公共施設等総合管理計画を踏まえた取組を推進する

新たな総合計画における基本政策の体系、及びそれぞれの基本政策に位置付けられている個別施策の体系を以下のとおり整理しています（全体のまとめ）

基本政策体系（全体版）

新たな総合計画の基本政策	
基本政策	新宿の未来への継承と発展
	安心して子育てできる環境の充実
	未来を担う子どもたちの『生きる力』を育む教育の推進
	若者をはじめとした誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの推進
	平和都市の推進
基本政策	住み続けたいまち新宿
	自分らしく生涯にわたり心身ともに健康で暮らせる取組の推進
	互いに支え合いながら暮らし続けられる地域包括ケアシステムの推進
	障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備
	セーフティネットの機能強化
	地域での生活を支える取組と総合的な地域福祉の推進
基本政策	新宿の高度防災都市化と安全安心の強化
	災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり
	災害に強い体制づくり
	感染症などから暮らしを守る体制の強化
基本政策	住みやすさ 1 番の新宿
	犯罪のない安全・安心なまちづくり
	地域で安心して生活できる環境の整備
	綺麗で美しいまちの実現
	地球温暖化対策の推進
	資源循環型社会の構築

新たな総合計画の基本政策	
基本政策	多彩なまち新宿の躍進
	地域で活動する様々な主体がささえあう地域コミュニティの推進
	産業の持続的な発展に向けた支援
	商店街の魅力向上・活性化の推進
	多彩な文化芸術と歴史を活かしたまちの魅力の創造
	区民の暮らしと調和のとれた国際観光都市・新宿としての魅力の向上
	誰もが生涯にわたり学習・スポーツ活動などを楽しむ環境の充実
	回遊性と利便性の向上による魅力的で歩きやすいまちづくり
	地域特性を活かした持続可能で魅力ある都市空間づくり
	誰もが利用しやすい道路・交通環境の整備
	豊かで美しいみどりの創造と魅力ある公園等の整備
基本政策	持続可能な区民サービス基盤の強化
	行政サービスの強化
	持続可能な行財政運営
	公共施設マネジメントの推進